

報道関係者各位

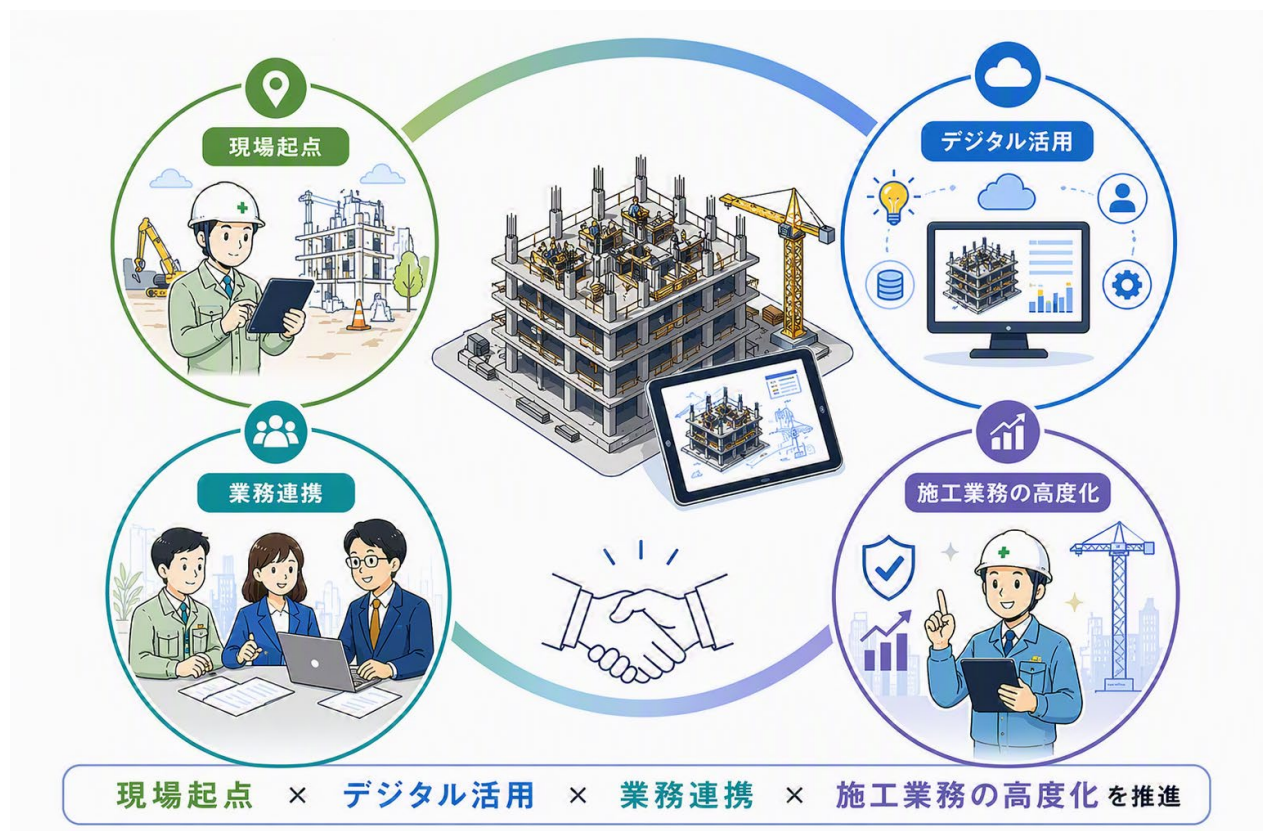
2026 年 9 月 1 日

福井コンピュータアーキテクト株式会社

建築施工分野におけるデジタル活用の高度化 東急建設と福井コンピュータアーキテクトが戦略的パートナーシップを締結 ～現場起点のデジタル活用と業務連携により施工業務の高度化を推進～

福井コンピュータアーキテクト株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役 COO：坪田 信）は、東急建設株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：久田 浩司）と、建築施工分野におけるデジタル活用の高度化に向けた戦略的パートナーシップを締結しました。

本パートナーシップは、施工現場における実務に即したデジタル活用を推進し、デジタルツール導入にとどまらない実運用での定着と施工業務の高度化を図るものです。また、施工現場起点のデータ活用と業務連携を基盤に、建築施工フェーズにて価値を発揮するデジタル活用を実現し、施工現場のデジタルシフトの加速を目指します。



【背景】

建設業界では、深刻化する労働力不足や生産性向上の要請を背景に、施工現場におけるデジタル活用の重要性が高まっています。しかしながら、BIMをはじめとした各種デジタルツールを導入しても、その活用に向けた検討段階で止まってしまう、活用の範囲がごく一部の業務に留まってしまう、**施工フェーズにおける実運用やその定着に至らないケースも見られます。**

こうした状況を打開すべく、両社は「建築施工現場で使われ、施工業務に価値をもたらす**デジタル活用＝普段使いの施工BIM**の確立」という共通の目標達成に向け、本パートナーシップの締結に至りました。

【パートナーシップの主な取り組み】

本パートナーシップでは、以下の3領域を軸に共創を推進します。

■ 普段使いの施工 BIM を推進

施工計画検討・数量確認等、実務でのデジタルツール活用を促進し、現場活用を前提とした運用を確立します。

■ 現場展開・支援と運用定着の加速

各現場への展開・支援を通じて活用率を高め、施工業務の均質化・高度化を推進します。

■ 現場起点の共創による継続的改善

現場課題を起点としたデジタルツールの活用や運用プロセスの見直しを両社で推進し、実務に耐えうるデジタル活用の高度化を実現します。

【本パートナーシップの意義】

本取り組みは、単なるデジタルツール導入にとどまらず、以下を実現する取り組みです。

- 現場起点によるデジタルツール活用の実装
- 施工業務における実効性の向上
- 施工業務におけるデジタルツール活用の高度化
- 今後の展開を見据えた施工部門における活用モデルの構築

両社は、本パートナーシップを通じて、施工現場におけるデジタルツール活用の実効性向上と、その運用を通じた継続的な改善を推進し、建設業における生産性向上と競争力強化に貢献してまいります。

東急建設株式会社

支援育成センター：人材強化の取り組みの中核を担う。

熟練技術者の高齢化、若手技術員不足、働き方改革など、建設業界の喫緊の課題に対し、長期経営計画の競争優位の源泉である人材とDXを柱に、革新的な取り組みを推進しています。

その中で、人材強化の取り組みの中核を担うのが、2025年度に建築事業本部内に設置した総勢100名体制の支援育成センターです。

＜ホームページ＞ <https://www.tokyu-cnst.co.jp/>

福井コンピュータアーキテクト株式会社

GLOOBE Construction：「建築現場のデジタルツイン」を実現する。

施工の現場に根ざし、建てるプロセスを、データでつなぐ。

施工BIM「GLOOBE Construction」は、施工プロセスに直結し、施工BIMを図面の先で終わらせない。

現場の意思決定・生産性・品質を支え、施工に生きるBIMを実現するとともに、持続的に価値を生み出す建設の基盤づくりに貢献します。

＜ホームページ＞ <https://archi.fukuicompu.co.jp/>

＜製品紹介ページ「BIM 施工支援システム GLOOBE Construction」＞

https://archi.fukuicompu.co.jp/products/gloobe_c/index.html

【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータアーキテクト株式会社 MA 営業課 石井

福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 TEL.0776-67-8850 ホームページ：<https://archi.fukuicompu.co.jp>

WEB お問い合わせフォーム：<https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>